

第2回 「しながわ平和のための戦争資料展」を 開くにあたって

今年は第二次世界大戦が終わって40年——東京大空襲をうけて40年、
広島・長崎での被爆40年目にあたります。

日本の歴史のなかで最も悲惨なこれらの体験を通して、戦後、再び戦争の
惨禍がおこることがないようにと平和憲法が制定されましたが、最近の動き
は、軍事化・核基地化が一段とすすみ、教科書の検定強化や国会に国家機密
法が上提されるなど危険な動きもみられます。

いっぽう核戦争に反対し、平和を守る運動も広がり、その動きを背景に、
非核平和都市を宣言する自治体が全国的にも広がり、去る3月、品川区でも
非核平和都市品川宣言が満場一致で議決されたことは、平和を守る上で極め
て意義あることと考えます。

私たちも、昨年、再び過去のあやまちをくり返さぬようにと、第1回平和
のための戦争資料展を開催し、多数の区民の方々の参加を得、大変好評のう
ちに終わりました。今年もひきつづき平和を守る人々の輪をさらに広げ、大
きな力にしていこうと、第2回資料展を開催することに致しました。

今年は、昨年のテーマ〈戦争と子ども〉を深め、見やすしい展示を試みまし
た。また、品川下の疎開状況についてTV放映されるなどの反響をよんでい
ます。今後とも、地域の人々の戦争体験を語りつぎ、戦争のむづろさを明
らかにし、戦争をくいとめる力を大きくしていきたいと考えています。

1985年8月

〈事務局〉東海林 次男

しながわ 平和のための戦争資料展実行委員会 〈代表〉田所 恭介・柳瀬 峰雄

〈よびかけ人〉

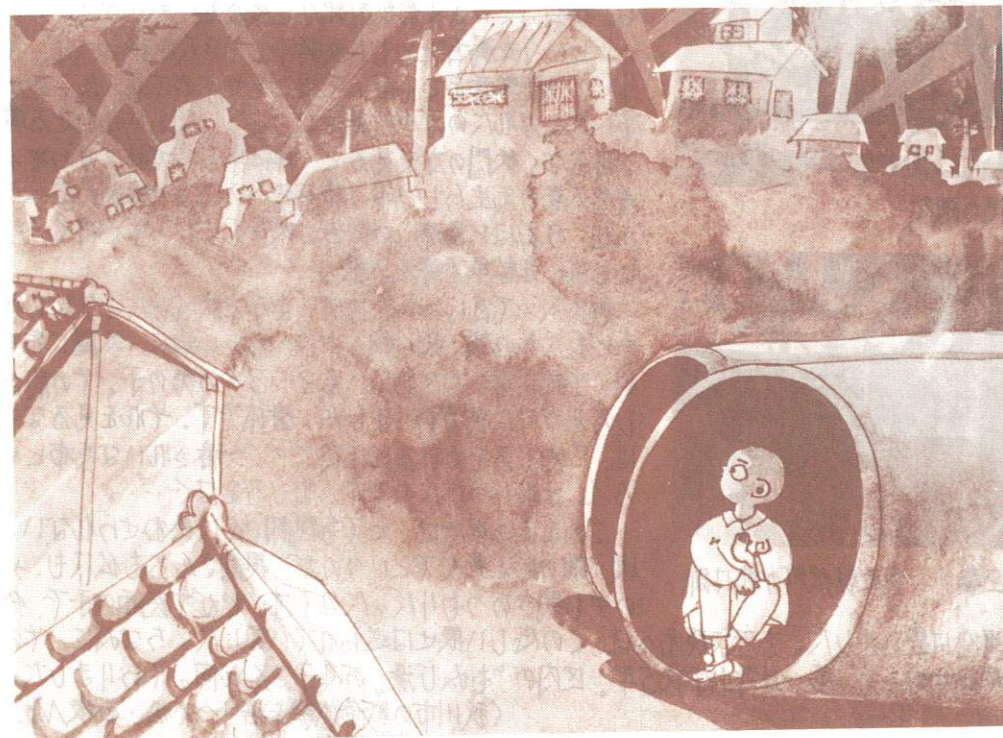
- ・朝井 幸子 (中学校教諭)
- ・扇谷 道子 (中学校教諭)
- ・小河原 ナホミ (小学校教諭)
- ・菊池 直子 (ゆたか図書館長)
- ・小林 邦子 (ひまわり保育園)
- ・佐賀 浩 (法政大学・助教授)
- ・谷岸 千恵子 (西品川・母親7-7)
- ・田淵 与一郎 (国鉄職員)
- ・内藤 美智子 (ひまわり保育園)
- ・中山 伸 (教職員組合役員)
- ・藤江 新三 (国鉄職員)
- ・山口 勇子 (児童文学者)

第2回

しながわ

平和のための戦争資料展

—戦争と子どもⅡ—



空襲の夜...疎開先から我家がこいしくな、て逃げてきたが、家の前まで来て
中に入らず、土管で一夜。近くの街は火の海... (浜川川・陳開)

とき 8月7日(水)～10日(土)

ところ 品川・勤労者福祉会館 展示室

〈特別企画〉 映画・スライド——小講習室

主催 「しながわ・平和のための戦争資料展」実行委員会

事務局 〒142 品川区荏原2-17-19-702 TEL.787-1522

日本の真の姿を伝える迫真の通史。

日本の歴史

家永 三郎編・全10巻

近・現代史に重点を置いた構成。

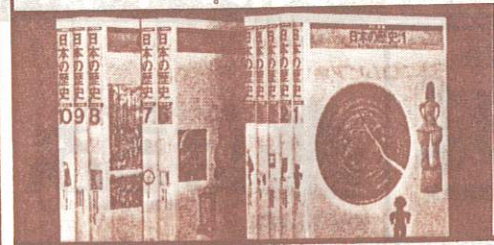
原始社会に始まって戦後の復興期まで、
といった従来の歴史書の通念を破りました。
三分の二にあたる六巻分が明治維新
以降を扱い、戦後史だけでも一巻。最終
巻では田中内閣の崩壊という最近史まで
も記しています。

歴史を浮きぼりにする記述。

事象や事実をたまたま時間的に羅列するの
ではなく、系統的に関連づけてゆき、歴史
の中に生きる人間像をできる限り浮きぼ
りにするよう、わかりやすく記述しました。
見る歴史の楽しさも味わえる。

はるぶ日本の歴史は各巻平均、百五十
点、総数二千点をこえる写真・図版を採
用。見る歴史の楽しさも十分味わって
いただけます。

●通本体裁 A4判変型/角背上製 各
巻216頁/カラ132頁/写真・図版平均
350点 ●現金価格(定価)35,000円



戦争の本質と原爆の悲惨を迫真のタッチで描く 平和マンガ作品集 全19巻

ほるぶ版 中沢啓治 刊行 汐文社・ほるぶ出版

反核・平和のほるぶの願いをこめて...

東京40万、ベルリン40万、そしてニュー
ヨーク100万。反核の叫びは、今、世界中
にとどろいています。この願いを著実に
広げていく草の根の本として、中沢啓
治・平和マンガ作品集をお届けします。
世代を越えて感動をよぶ中沢マンガ
原簿に父と姉弟を、睡の内に奪われなが
らも、母を助け明く、たくましく生き
るケン姿...。親と、先生と生徒
そして戦争体験のあるものと、ないもの
が共に語りあえるテーマを中沢マンガは
提供します。

●通本体裁 A5判 上製本 厚表紙
●現金価格(定価)45,600円

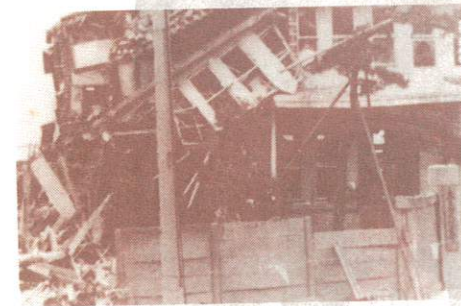




疎開先での食事風景



保育園児の疎開



品川初空襲……東亜製衣所の焼け跡

姿ながら遺体は整いました。すでに親元へは、この悲しい知らせは送られていました。ちなみに、そのお子さんの名は岡崎和雄くん。第一日野小学校5年。区内の「もみじ湯」の息子さんと何っておりました。...

〈秋川市の戦争体験を語りつぐ会・会報No.1〉

昭和17年4月18日。荒川、王子、葛飾、牛込、川石川、品川などが爆撃をうけました。品川では、死者26名も出しています。

戦争と子どもⅡ

I. 品川の子どものための疎開、そして空襲

疎開とは……昭和18年頃より、東京の空襲も時間の問題となり、市内の学童を戦禍から守る国策として、集団下宿が指定する地方に先生とともに分散寄宿させました。

西秋留村では、三木小学校240名と、第一日野小学校の一部40~50名を寺の本堂、部屋のクラブ、大きな農家などに受け入れました。

惨！疎開学童の死……昭和20年7月28日。晴。酷暑。11時すぎ、空襲警報発令！すわとばかりに怒勢を整えて防空壕に身をひそめて待機。米袋の気配なし。今回はこのまま警報解除かと職員室に戻りかけた瞬間、キーンという金属音とともに急降下してきた敵機。バリ、バリ、バリという射撃音をともなう頭上をかすめて通った。やがて、無事に立上られたのが不慮と見合せる職員……

何気なく校門の方を見ると、自転車を急がせながらやってくる海老沢先生の姿。職員室へ入るなり校長先生へ「1人だけ、3名ほど負傷」の報告。校長「よし、すぐ行く！……」私どもは、自転車で海老沢先生へ。

寮に入って目についたのは、まるで救済したように立ちつくす子どもたちの顔。顔、顔、顔。中に入ると、頭に、太腿に赤チンキをぬって壁に背をもちかたれている2~3人の男の子。その前の床にむしろをかいた物がありました。遺体です。それを見るなり、校長は、「むしろをかけるとは何だ！一番きれいな毛布とヒリかえろ！」と叱りつけたのです。むしろをはぐ……

このままの姿では、とても親御さんにお知らせできない。せめて顔、顔の形を整えてというのが、親御さんにも仏にも、せめてもの申し開きのつもりだったのです。やがて医師の手で、傷ましい

III. 戦時下のくらしと教育

1937年(昭12)、7月7日夕の夜。この日、北京郊外の蘆溝橋付近で演習中の日本軍と中国軍との衝突事件をきっかけにして、ついに日本は、中国への全面的な侵略戦争に突入したのです。

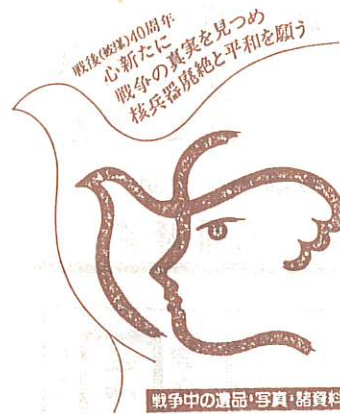
長期戦の見通しを持たないまま拡大を重ねていった日中戦争のもとで、日本国内の政治や経済は、混乱におちいっていきます。

こうした混乱の中で、全てを戦争に投入するために「国家総動員法」が制定(1938年)され、経済の統制はだてに言論統制へ。

学校教育は、軍国調一色にぬりつぶされていきます。「ススメ ススメ ヘイタイ ススメ」などのように、国民を戦争にかりたてるものが多く載せられた教科書が登場してきました。

——日中戦争が中国全土に広がり、満州開拓移民も数多く組織されていきます。1938年(昭13)には少年義勇軍(16~17才の農家の次、三男)が募集され、太平洋戦争以後は、商店主らも送りこまれました。

武蔵小山商店街の人々も1943年に開拓団に加わり、満州の地に入植しました。……しかし、ソ連参戦の翌日昭和20年8月10日、ソ連参戦を確かめるべく、山崎団長は省公署に出かけたが、憲兵隊も特務機関も、もぬけのからになっていました。関東軍は民間人を置き去りにして退却を始めていたのです。このことが、中国残留孤児をたくさん生みだして行くことにもなります。



戦後40周年 心新たに戦争の真実を見つめ 核兵器廃絶と平和を願う

戦争中の遺品写真・諸資料をご出品下さい。



「産めよ増せよ」と呼びかけられた



「ゆけ、満州へ」と呼びかけられたが……

IV. 現代の平和の問題

1985年3月 非核平和都市 品川宣言!

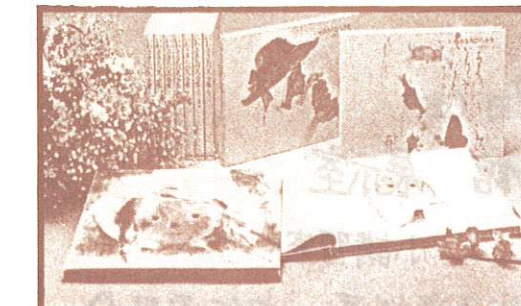
〈中学生の反核標語〉・核兵器 平和を願ひ 廃絶へ

・人類の 未来こわすな 核兵器

・核兵器 廃絶につくす 平和都市 (区内大崎中作品)

II. 品川の初空襲

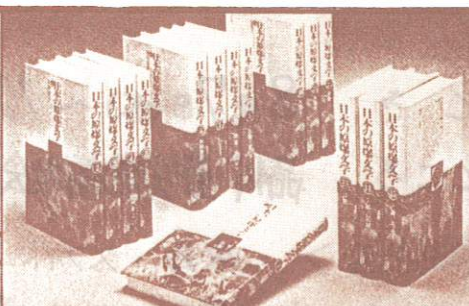
昭和17年4月18日。荒川、王子、葛飾、牛込、川石川、品川などが爆撃をうけました。品川では、死者26名も出しています。



ちひろ美術館の全面協力。30年に渡る全作品を集大成。

いわさきちひろ全集 愛蔵決定版

ほるぷ出版 監修/飯沢匡 協力/いわさきちひろ絵本美術館



世界で最初の被爆国で生まれた原爆文学をはじめて集大成 日本の原爆文学

戦争とはなにか、人間らしく生きるとはなにかを訴えかける名作マンガ。

ほるぷ平和漫画シリーズ

戦争を考え、人間を問う名作マンガの集大成。雑誌や単行本で出たが現在では入手できない、反戦漫画シリーズ。 ●全21冊 ●小学校中学年~一般

あなたは、日本は、そして地球は…世界の科学者は予見する。

核戦争後の地球

イタリア賞ドキュメンタリー部門大賞受賞 日本ジャーナリスト会購買受賞 全2巻 各巻30分 カラー

ヒロシマ・ナガサキ被爆40周年

反核・平和の願いをこめて



家庭の対書室づくり

ほるぷ

〒150 東京都新宿区新宿2-19-13

お申込み・お問合せは……

大田営業所 03-739-4003

東京支店 03-356-4513